

(2) 美容文化コース(美容師養成施設)

教科科目	科目の特徴	科目の目標
社会福祉概論	社会福祉の理念やしぐみ、実態と課題などについて講義する。	現代社会を生きる市民として、また福祉にかかわる専門職やNPO、ボランティア等をめざす者として、必要な社会福祉に関する知識を習得する。
情報処理演習Ⅰ	コンピューターを常識として活用する能力「コンピューター・リテラシー」を養うことを目的とする。パーソナル・コンピューター及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるように授業を進める。	文章デザイン試験3級合格を目指す。
衛生管理Ⅰ	公衆衛生領域での正しい知識と情報を学ぶ必要がある。この講義では、衛生環境について、公衆衛生と環境衛生、感染症、衛生管理技術について系統的に講義する。	公衆衛生の正しい知識を身につける。
美容保健Ⅰ	人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴(骨格、筋、神経含む)を講義する。	人体組織の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の修得を目的とする。
化粧品化学Ⅰ	各種薬品の取りと扱いや化学成分の特質の理解 国家試験出題ポイントと絞り込み、演習を中心に授業を展開する。	化粧品の化学物質の基礎知識を身につける
美容技術理論Ⅰ	美容技術には常にその技術を施す裏付けがあり、その意義を理解しておかなければ更に高度な技術には対応できない。日々移り変わる美容技術についても対応できるように、将来、美容を生業とする者が知っておかなければならない技術に関する知識や理論を学ぶ。	美容師が取り扱う化粧品類及び医薬部外品に関する知識と基礎的な美容技術に関する理論の理解。
美容文化実習1	頭髪美粧の基礎的知識と技術を修得していく。頭髪のカット、ワインディング、作品制作等を通して、基礎的なヘアスタイルの構成要素と技術ポイントを把握し、より正確に素早い施術を目指す。	美容師として必要な基礎技術の修得。
美容文化実習3	美容師を志す者として、美容サロンで展開している主要技術であるシャンプー技術・ヘアカット技術等、将来サロンに従事した際に役立つ実践的技術の修得。	基礎的なものから応用的なものまで幅広く対応し、将来のサロン営業に貢献できる人材の育成。
和装着付け	和装着付けの歴史、種類等の基礎知識からトータルに和装着付け技術を学ぶ。色々な帯の結び方から着物の模様、半襟や帯の種類、帯締、帯上げ等の色彩の調和を考えた総合的な美しさをより一層引き立てるための技術を修得する	和装着付け技術と知識の全般的な理解と基礎技術の修得を目指す。